

矢板市教育大綱

教育大綱の基本理念

『教育を通じ、誰もが可能性に挑戦し、社会の担い手として活躍する、「魅力あふれる矢板」』

1. たくましく生きぬく力の養成
2. 未来を切り拓くための多様な力を育む教育の推進
3. 互いに尊重し合い、助け合い、生きいきと暮らせる地域社会の構築

教育大綱の期間

令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

上記期間内大綱の変更等を要する場合は、総合教育会議において協議した上で行います。

教育大綱の基本目標

目標1 たくましく生きる力	横断的な目標 教育や生涯学習への ICT（情報通信技術）の活用
目標2 ふるさとに対する愛着と誇り	
目標3 地域を豊かにする人づくり	
目標4 生涯スポーツ活動の推進	
目標5 教育環境の充実	

5つの基本目標と横断的な目標を定めました。個別目標の詳細は次のとおりです。

目標1 たくましく生きる力

子どもたちが現代社会で生きぬくため、豊富な「知識」、豊かな「心」、丈夫な「体」をしっかりとし身につけ、次代に対応できるたくましい力を育てます。

- 確かな学力をつける
- 基本的な生活習慣や食育、スポーツを通じて心身の健康を保持・増進する
- コミュニケーション能力をつける
- 家庭学習の充実を図る
- 地域で学び、支え合う機会を増やす

目標2 ふるさつに対する愛着と誇り

矢板市の良さを知り、愛着と誇りを持ち、矢板市に生まれ、矢板市に住んで良かったと思える心を育てます。

- 伝統や文化、産業を学び伝える
- 地域の伝統や文化財の活用を推進する
- 地域が連携して青少年を健全に育成する
- 社会参加や地域交流活動を促進する

目標3 地域を豊かにする人づくり

市民一人ひとりが自治の精神をもち、学習の成果を発揮してまちづくりを主体的に取り組める力を育てるとともに、行政は市民と一体となって生涯学習機会の創出を進めます。

- 地域学校協働活動を推進する
- 地域の学びを支える人材を育成する
- 地域のまちづくり団体やボランティア団体を支援する
- 行政の生涯学習機能の充実や民間との生涯学習ネットワーク構築を進める
- 世代間交流を進める

目標4 生涯スポーツ活動の推進

スポーツの持つ多面的な機能を活かして、市民が生涯にわたってスポーツに親しみ、健康で幸せに暮らすための環境を充実させます。

- 生涯スポーツを推進する
- スポーツ施設の機能を拡充する
- 競技レベルの向上を推進する
- スポーツを通じた持続可能なまちづくりを推進する

目標5 教育環境の充実

「ひと」を育むうえで、教育環境を充実させることは、とても重要です。未来の矢板市を担う子どもたちの教育環境を充実させます。

- 幼保小連携や小中学校の連携を推進する
- 教育施設を充実する
- 地域と協力して小中学校の適正規模・適正配置を推進する
- 地域と学校が連携・協働して教育の充実を図る

横断的な目標 教育や生涯学習へのICT（情報通信技術）の活用

これからの変化の多い時代や感染症へ対応するために、教育分野におけるICTの導入及び活用を図ります。